

## 活 動 報 告

### 1 移住コンシェルジュ配置

職員1名を常駐。市でも地域おこし協力隊の1名を移住コンシェルジュとして採用。

### 2 移住検討者向け滞在拠点（「暮らし体験の家」ほか）の整備

無料で利用可能な滞在拠点を準備した。

また別途、宿泊の営業資格を有する有料宿泊施設にも、暮らし体験受け入れの協力を要請。

#### （1）無料

①「加賀暮らし体験の家」大聖寺の町家（大聖寺神明町12番地）

※事務局としても使用（6月7日より賃貸契約）

②「加賀かりぐらしの家」移住相談室（大聖寺神明町46番地）

（11月3日より改修工事、12月完了）

#### （2）有料

③東谷地区「百笑の郷」、④橋立地区「民宿 北前船」

⑤瀬越地区「竹の浦館」、⑥黒崎地区「シェアハウスろくさ」

### 3 空き家・空き物件の情報収集

移住希望者の具体的な要望に応じて、下記等の物件について情報収集を行い、情報提供、取扱い不動産業者の紹介、現地見学の同行案内などを行う。

#### （1）移住希望者への空き家情報

- ・ペット可の物件を希望する方
- ・片山津エリアへの移住を希望する方
- ・大聖寺エリアへの移住を希望する方

#### （2）創業希望者向けの物件情報

- ・レストラン開業を希望する方
- ・土産店開業を希望する方
- ・畜産業・農業・レストランの創業を希望する方

その他、市内外の不動産会社が管理する物件情報等の収集や、不動産会社を訪問して情報提供依頼活動を行ったほか、空き家についても市民からの情報提供を受けて聞き取り、合わせて相談、現地見分等を随時行うなど、独自に空き家情報の収集を行う。

### 4 UIターン者ヒアリング

工藤 瑞希氏（平松牧場勤務）、久保田 尚樹氏（トマト農家）、飯貝 誠氏（学習塾「タビト学舎」運営）、鮎池 涼香氏（グラフィックデザイナー）、上出先生（勤務医）、岡本先生（勤務医）

＜かがくらしのススメ。で紹介＞

- ① 鮎池涼香、②飯貝誠、③熊岡義裕（BARFriends）、④杉田太（エノテカ チェドロ ステッラ）、⑤八木彩佳（山羊パン）、⑥小林真樹（日菓）、⑦硯屋 洸司（英語塾ラナップ）、⑧八嶋宗治（お庭屋 宗さん）、⑨農田悟（農業、移動式ピッツェリア オチバーズ）、⑩新口敬悟（マヌリリ）、⑪米谷彰能（陶芸）

## 5 事業所ヒアリング（移住者の就業先候補）

移住希望者の移住後の生活を成立させるためには、仕事の確保が不可欠であり、市内にどんな仕事があるかの紹介を優先して行うことが望まれる。

事業所等を訪問し、事業所の現状、将来展望、募集職種、求める人材像などについて、聞き取り調査（ヒアリング）を実施。

- （１）聞き取り先重点分野： 製造業、観光業、医療福祉関係、一次産業

＜製造業＞（Ⅰ-機械部品メーカー等、Ⅱ-菓子メーカー等、Ⅲ-伝統産業ほか）

- ①大同工業 ②月星製作所 ③江沼チェン製作所 ④吉田製作  
⑤加賀発条 ⑥加賀機電協会  
⑦フジセイカ  
⑧山本長左窯・妙泉陶房 ⑨守田漆器 ⑩たつみや  
⑪ジャパンドームハウス

＜観光業＞（旅館ほか）

- ⑫あらや滔々庵 ⑬ゆのくに天祥 ⑭かよう亭 ⑮宝生亭  
⑯かのや光楽園 ⑰べにや無可有 ⑱白鷺湯たわらや  
⑲山代温泉観光協会 ⑳片山津温泉観光協会

＜医療福祉関係＞

- ㉑加賀市医療センター ㉒久藤総合病院 ㉓加賀のぞみ園

＜第一次産業 および関連＞

- ㉔平松牧場 ㉕小塩辻梨協同組合 ㉖奥谷梨生産組合  
㉗岸グリーンサービス ㉘かが森林組合

＜その他＞

- ㉙加賀商工会議所 ㉚小中出建設 ㉛シモアラ ㉜カーロカーラ

- （２）雇用のミスマッチに向けた取り組みについて

### ①背景

- ・地域の企業への理解が薄い。
- ・地域にある仕事を知らない人が多い。
- ・企業の就労条件の改善への取り組みが弱い。

### ②現状

- ・先進モデルは地域にあり。

例：加賀発条・・・残業無し  
 あらや滔々庵・・・定休日を設定  
 ゆのくに天祥・・・仕事を細分化、旅館男子の導入  
 フジセイカ・・・正社員がほとんど  
 江沼チェン・・・独自の魅力発信で人財が集まる

### ③対策

- ・企業の事業内容についての情報発信を継続していく。
- ・理解向上のための体験や見学プログラムを継続的に実施する。
- ・就労条件、労働環境改善を業界全体、地域全体で取り組む。

## 6 情報発信

①加賀市定住促進ポータルサイト「加賀でかがやく」（7月サーバ契約）

- ・セッション数：2,896（※開設日～2/15時点）

②Facebook「加賀市定住促進協議会」（7月20日開設）

- ・リーチ数：一日平均455（開設日7/20～2/9時点）

③移住パンフレット「加賀でかがやく」 A4サイズ、12ページ（10月初版）

- ・パンフ配布先：移住セミナー参加者、移住フェア会場 等

④紹介ちらし「加賀市定住促進協議会 活動内容」 A4サイズ片面

⑤紹介ちらし「暮らし体験プログラム（暮らし体験の家）」 //

⑥紹介ちらし「仕事体験プログラム」 //

⑦紹介ちらし「梨の仕事体験」 //

⑧開催告知ちらし「移住体験ツアー」

1) 9月開催分 （参加費を1万円で設定） A4サイズ両面

2) 10月11月開催分（以降、参加無料で設定） //

3) 12月1月開催分 //

4) 2月3月開催分 //

- ・ちらし配布先（④～⑧）：移住セミナー参加者、移住フェア会場 等

## 7 セミナー・フェア等への出展

① 7月30日（土）いしかわ暮らしセミナー・創業編 （会場／I L A C 東京）

② 9月10日（土）いしかわ暮らしセミナー・子育て編（会場／I L A C 東京）

③ 10月9日（日）TURNSカフェin金沢（会場／シェアホテルHATCH i  
（金沢市））

④ 10月22日（土）ふるさと回帰フェア 東京（会場／東京国際フォーラム）

⑤ 11月18日（金）I S H I K A W A N I G H T @ 京都（会場／京都リサーチ  
パーク町家スタジオ）

⑥ 12月10日（土）加賀・能登移住セミナー（会場／ふるさと回帰支援センター）

⑦ 1月15日（日）J O I N 移住・交流フェア&地域おこしフェア（会場／東京  
ビックサイト）

## 8 移住体験ツアーの開催

移住体験ツアーを9月から2カ月毎のシリーズで実施。毎回、タイトルテーマを設定して参加者募集を行った。

10月実施分から参加申し込みがあり、以降は2月実施予定分の予約を含め、継続して参加申し込みがある状態が続いている。

次年度は、開催日程を毎月最終週末に固定することで開催日等分かりやすさをアップし、継続して企画する予定。

### <開催日・参加者数>

10月29日(土)～30(日)	参加者：1組(1人)
11月19日(土)～20(日)	参加者：4組(4人)
12月17日(土)～18(日)	参加者：2組(3人)
1月21日(土)～22(日)	参加者：1組(1人)
2月10日(金)～11(土祝)	参加者：1組(2人)

## 9 移住希望者サポート

- ①「夏の移住相談会」(8月13日、14日) ※帰省シーズンに実施、2017年正月は実施なし。
- ②「仕事体験プログラム」 1名をコーディネート
- ③個別サポート対応人数：40組 → 対応後の移住者：3組(6名)

## 10 移住検討者向け滞在拠点(「暮らし体験の家」ほか)の利用状況

10月29日(土)の初利用以降、移住体験ツアーの参加者6組を含め、1月末までに計のべ15組(20人)の利用があった。「暮らし体験の家」と「かりぐらしの家」の合計)

(1) 利用合計 のべ15組(20人)

(2) 滞在日数 1泊利用：9組

2泊利用：5組

5泊利用：1組

(3) 利用者の居住地 東京都のべ6組、愛知県2組、滋賀県のべ3組、岐阜県、長野県、福井県、兵庫県が各1組

※この他、すぐに移住につながる移住希望者ではないが、大学生インターン及び高校生インターンの滞在利用あり。

## 11 チャレンジできるまち「PLUS KAGA」推進事業(資料2のとおり)